

「映像と音楽の関係について考えよう」に関する解説

監修：稲垣 忠 東北学院大学教養学部人間科学科准教授

音楽、図工などの芸術表現に関わる教科は、メディアリテラシーの中でもとりわけ「メディアを通じてコミュニケーションを創造する能力」に深く関連します。本実践は、メディアリテラシー教育ではよく取り上げられるCMづくりを音楽科の授業で実践されたことがポイントです。

音楽科の新指導要領には、「児童が思いや意図をもって音楽をつくる」ことの重要性が掲げられています。音楽表現もコミュニケーション手段のひとつと位置づけることができます。また、鑑賞領域でも、音楽の面白さや美しさについて感じ取ったことを自分なりに批評する学習が取り上げられています。

短時間で強い印象を与えるCMには、映像だけでなく、BGMや効果音などの音が果たす役割も大きいものです。音楽づくりの学習の素材にCMを使うことで、伝えたいメッセージや、CMの映像にふさわしい音楽を考えることができます。